



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 株式会社インターメスティック 上場取引所 東  
 コード番号 262A URL <https://www.zoff.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 上野 博史  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 里見 亮陸 (TEL) 03(5468)8650  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	21,104	80.7	2,467	30.1	2,299	20.8	1,399	7.0
2025年12月期第1四半期	11,680	—	1,897	—	1,903	—	1,308	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,459百万円(11.6%) 2025年12月期第1四半期 1,307百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	45.75	44.61
2025年12月期第1四半期	42.76	41.56

(注) 当社は2024年12月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	62,568	26,079	41.7
2025年12月期	65,668	25,966	39.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 26,079百万円 2025年12月期 25,966百万円

(注) 2026年12月期第1四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	51.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,800	71.1	7,502	25.2	7,100	18.7	4,752	15.4	155.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年12月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	30,600,000株	2025年12月期	30,600,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	一株	2025年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	30,600,000株	2025年12月期1Q	30,600,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の通商政策の変更に伴う影響が継続したほか、中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇がみられました。これに伴う物価高への懸念から、消費者マインドは慎重な動きとなり、個人消費には一部に足踏み感がみられました。世界経済においては、米国の政策動向や地政学的リスクの再燃を背景に不透明感が強まっており、我が国経済に影響を及ぼす要因となっております。また、国際的な資源価格の変動や金融資本市場の不安定な動きも引き続き懸念されており、国内外の経済情勢の先行きは依然として予断を許さない状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループは“Eye Performance”をビジョンに掲げ、視力矯正器具に留まらず、メガネをファッションアイテムとして、さらには人間の可能性を拡張するツールとして、新しい価値の提示を通じて、社会や暮らしに必要とされるブランドを目指し、取り組みを進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における店舗数は、国内ではZoff事業335店舗(すべて連結子会社である株式会社ゾフが運営)、メガネスーパー事業301店舗(すべて連結子会社である株式会社メガネスーパーが運営)、海外20店舗(すべてフランチャイズ加盟店、香港17店舗、シンガポール3店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は21,104百万円(前年同期比80.7%増)、営業利益は2,467百万円(前年同期比30.1%増)、経常利益は2,299百万円(前年同期比20.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,399百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

セグメント別業績の概要は、次のとおりです。

#### 〈国内事業〉

国内Zoff事業につきましては、耐久性に優れた「Galileo(ガリレオ)」シリーズから、スリムな構造とシンプルなデザインの「Galileo S01」及び耐衝撃性を特徴とする「Galileoレンズ」を投入したほか、多様な顧客ニーズに対応する各コラボレーションアイウェアなど、幅広い層に向けた商品展開を行いました。

あわせて、創業25周年を記念した「創業25周年フェア」を開催するなどマーケティング面でも需要の喚起に努めました。

メガネスーパー事業につきましては、前連結会計年度末をみなし取得日として株式取得したHorus HD株式会社及びHorus株式会社並びにHorus株式会社の子会社であるほか4社の業績を当第1四半期連結累計期間より含めたことにより、当第1四半期連結累計期間より国内事業において業績に貢献しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数はZoff事業335店舗(出店4店舗、退店1店舗)、メガネスーパー事業301店舗(出店3店舗、退店1店舗)となりました。

以上の結果、国内事業の業績は、セグメント売上高は20,963百万円(前年同期比81.9%増)、セグメント営業利益は2,454百万円(前年同期比30.1%増)となりました。

#### 〈海外事業〉

海外事業につきましては、香港においては、季節要因や消費動向の影響を受けつつ推移しました。

シンガポールにおいては、景気は緩やかな成長基調にあるものの、時期要因等により月次で変動が見られました。

当第1四半期連結累計期間を通じては、両地域とも概ね想定の範囲内で推移しました。

店舗展開につきましては、香港17店舗(出店、退店なし)、シンガポール3店舗(出店、退店なし)の合計20店舗となりました。

以上の結果、海外事業の業績は、セグメント売上高は216百万円(前年同期比4.7%減)、セグメント営業利益は12百万円(前年同期比26.6%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ3,100百万円減少し62,568百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,056百万円減少し21,995百万円となりました。これは主に、配当金の支払及び賞与の支払等により現金及び預金が2,455百万円減少したことや、前連結会計年度末に計上された売掛債権の回収により預け金が548百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ43百万円減少し40,572百万円となりました。これは主に、新規出店や改装に伴い有形固定資産が241百万円増加した一方で、償却が進んだことによりのれんが208百万円、顧客関連資産が69百万円、商標権が59百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比べ3,213百万円減少し36,488百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ13,431百万円減少し21,181百万円となりました。これは主に、銀行借入の返済により短期借入金が12,000百万円減少したこと及び賞与の支給により賞与引当金が1,303百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ10,217百万円増加し15,307百万円となりました。これは主に、シンジケートローンの実行により長期借入金が10,284百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末と比べ112百万円増加し26,079百万円となりました。

これは主に、配当金の支払1,346百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,399百万円により利益剰余金が53百万円増加したこと、並びに繰延ヘッジ損益が60百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日付「2025年12月期 決算短信」にて公表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,060	7,604
売掛金	3,068	2,990
商品	7,170	7,235
預け金	3,298	2,749
その他	1,530	1,490
貸倒引当金	△76	△76
流動資産合計	25,052	21,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,359	3,566
工具、器具及び備品(純額)	1,733	1,788
リース資産(純額)	675	655
建設仮勘定	29	27
その他(純額)	218	218
有形固定資産合計	6,015	6,257
無形固定資産		
のれん	14,178	13,969
顧客関連資産	4,476	4,406
商標権	7,969	7,909
ソフトウェア	986	984
その他	37	37
無形固定資産合計	27,648	27,307
投資その他の資産		
関係会社出資金	27	27
敷金及び保証金	4,803	4,817
繰延税金資産	1,984	1,990
その他	216	251
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	6,952	7,007
固定資産合計	40,616	40,572
資産合計	65,668	62,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,047	2,907
短期借入金	18,000	6,000
リース債務	272	270
1年内返済予定の長期借入金	—	1,715
未払金	4,693	3,822
未払費用	336	454
未払法人税等	1,731	992
賞与引当金	1,971	668
契約負債	3,676	3,098
預り金	157	494
その他	724	756
流動負債合計	34,612	21,181
固定負債		
長期借入金	—	10,284
リース債務	599	566
退職給付に係る負債	1,503	1,509
繰延税金負債	2,716	2,671
預り保証金	109	111
その他	161	163
固定負債合計	5,090	15,307
負債合計	39,702	36,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	220	220
資本剰余金	10,240	10,240
利益剰余金	15,368	15,421
株主資本合計	25,828	25,882
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	8	68
為替換算調整勘定	129	128
その他の包括利益累計額合計	137	197
純資産合計	25,966	26,079
負債純資産合計	65,668	62,568

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	11,680	21,104
売上原価	2,795	6,248
売上総利益	8,885	14,856
販売費及び一般管理費	6,988	12,388
営業利益	1,897	2,467
営業外収益		
受取利息	8	12
為替差益	5	—
その他	0	5
営業外収益合計	13	18
営業外費用		
支払利息	7	88
支払手数料	—	90
為替差損	—	6
その他	0	0
営業外費用合計	7	186
経常利益	1,903	2,299
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	22	34
その他	1	—
特別損失合計	24	34
税金等調整前四半期純利益	1,880	2,266
法人税、住民税及び事業税	594	943
法人税等調整額	△22	△76
法人税等合計	572	866
四半期純利益	1,308	1,399
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,308	1,399

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,308	1,399
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△12	60
為替換算調整勘定	11	△1
その他の包括利益合計	△0	59
四半期包括利益	1,307	1,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,307	1,459

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,453	227	11,680	—	11,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73	—	73	△73	—
計	11,527	227	11,754	△73	11,680
セグメント利益	1,887	10	1,897	0	1,897

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,887	216	21,104	—	21,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75	—	75	△75	—
計	20,963	216	21,179	△75	21,104
セグメント利益	2,454	12	2,467	0	2,467

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度において、Horus HD株式会社及びHorus株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。これにより、「国内事業」セグメントにおけるのれんの金額が減少しております。なお、詳細につきましては、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	222百万円	549百万円
のれんの償却額	—百万円	208百万円

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2025年10月1日(みなし取得日2025年12月31日)に行われたHorus HD株式会社及びHorus株式会社との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額23,865百万円は、会計処理の確定により9,687百万円減少し、14,178百万円となっております。

また、前連結会計年度末ののれんを除く無形固定資産が12,418百万円、固定負債が2,716百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が14百万円減少しております。なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。